

場所	展示室	ゾーン	ワークシートNo.
2階	とやま・空間のたび	丘陵と平野	29

昔のくらしと今のくらし

都市にはたくさんの方が集中して生活しています。人が快適に暮らすためにいろいろな技術が開発されてきました。



Q1 現在の都市の生活と50年くらい前の里山の生活の展示を見くらべて、何がどのように変わりましたか？

昔の里山のくらし

現在の都市のくらし

・ 建物の材料（家は何からつくられている？）



鉄やコンクリートを多く使う

・ 料理をしたり家の中をあたためるための燃料



電気・ガス・石油を使う

・ 料理をしたり何かを洗ったりするための水



水道でそれぞれの家に送られている

機械のなかった昔は、米づくりに大変な労力がかかりました。人々は、米をとったあとに残るわらも、うまく利用していました。

Q2 人々はわらを何に使ったのでしょうか。

なわ たわら へくる
縄、俵、むしろ、袋、みの、 や など、
多くの生活用品を作った。

使い古されたわらの生活用品は、^{きざ}刻んだり、燃やして灰にして肥料として田んぼにまかれ、再び稲の一部となっていました。

